

自己評価結果等報告書

令和 8 年 2 月 12 日

1 事業所情報

事業所の名称	一般社団法人みかさの里 放課後くらぶエイトピーす		
事業所番号	4650800016		
事業の種別	☐	児童発達支援	☒ 放課後等デイサービス
所在地	鹿児島県出水市知識町324-2		

2 公表状況

公表日	令和	8 年	2 月	日
公表方法	☒	ホームページ	(URL	mikasanosato.net)
	☐	会報等	(	)
	☐	その他	(	)

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	猿楽 賢司
連絡先 (TEL)	0996-68-8155

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人 みかさの里 放課後くらぶエイトピーす			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 12 月 15 日		～	令和 8 年 1 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20 名	(回答者数)	20 名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 12 月 15 日		～	令和 8 年 1 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 1 月 29 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出行事や地域の催し等への参加など、いろいろな場所へお出かけをする事で、社会体験・経験をする機会を多く取り入れ子どもたちが楽しみながら成長できるよう取り組んでいる。	事前にポスターを作成し掲示する事で、楽しみを持ち他の子どもたちと会話したりどこに行くのか、どんな所なのか想像して積極的な関わりが見られています。工場見学や水族館、周辺地域の催し等に参加し外部の子どもたちやご家族に混ざりながら社会性について学ぶ機会がもてるよう取り組んでいます。	子どもたちが楽しみながら、新しい事の発見・挑戦・体験・経験ができるよう、子どもたちや保護者様の意見・希望も確認しながら検討を図っていきたいと思います。
2	子どもの状態・状況に合わせ、必要に応じ個別・集団での活動を取り入れながら支援をしている。また、作業療法士による専門支援も個別・小集団での活動を専門的に実施する事で成長に繋がっている。	子どもの変化をいち早くキャッチできるよう、送迎時に学校の先生と連携を図り、学校での様子などの報告を頂いたり、こちらから確認する等して状況・状態の把握をするともに、登園後に個別で振り返りを行い、フォローアップする事で落ち着いて過ごせるよう取り組んでいます。また、子どもたちのレベルに合わせ個別や集団での活動を行い、スモールステップで成長できるよう活動に取り組んでいます。	一人一人の子どもたちの状況・状態の観察・把握を行いながら、その時に必要な支援を心掛け、実施していきたいと思います。また、個々の成長期等に伴う心理的变化や特性の理解をしっかりと行い、一人一人に適した支援の選択をするなどして成長に繋がってける支援を心掛けて行きたいと思います。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学童・児童クラブ等との交流の機会が不足している。	学童や児童クラブへの働きかけができておらず、関わりを持つ機会がもてていない現状がある。	送迎時など日頃からの関わり、コミュニケーションを意識していきながら関係性を深め連携を図れるよう検討していく。
2	事業所の行事に地域住民を招待するなどの取り組みが不足している。	高齢者施設慰問などこちらから出向いての交流は図っているが、事業所に招いての催しに対しては、検討中で実施に至っていない。学校休校日に限られるため、なかなか日程調整ができていないのが現状。	社会福祉協議会や民生委員とのやり取りを行い、早い段階から調整や内容等含め検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 一般社団法人 みかさの里 放課後くらぶエイトびーす

公表日 令和 8年 2月12日

利用児童数 25名 (保護者数 20名)

回収数 20件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18			2		事業所が移転してから施設内の説明をさせて頂いていない保護者様もいらっしゃるため面談時等にご案内させていただきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			1		規程で定められた職員数を配置し、対応しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			2		必要に応じて環境への配慮を随時行っています。また、イラストや文字にて視覚的な配慮も行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18			2		支援前、支援後に清掃、片づけ・準備、室温・湿度管理等を行い環境への配慮を行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					子どもたちの特性・個性等について職員間で情報共有・分析等、日々行いながら支援に繋がっています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20					支援内容と支援プログラムについて、職員間で検討を行い、作成、実施をしています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					個々の成長・発達、保護者様の意見等を把握し、それぞれのニーズを含めた支援計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					「本人支援」「家族支援」「移行支援」を網羅するよう作成しています。個々の発達状況を踏まえた上で必要な項目を選択し支援内容に組み込んでいます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					支援前後のミーティングにて支援方法についてなどの確認を行い取り組んでいます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20					個々の成長状況に合わせ活動内容に変化を持たせたり、季節の催し、外出行事など活動に取り入れながら固定しない為のプログラム立案に努めています。
保護者 への 説明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	1		6		地域の催しに参加し、一緒に空間で過ごしたり、関わる機会を設けています。児童クラブ等との交流については今後も検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					契約時や内容変更時等にご説明を行わせて頂いています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					個別支援計画を提示しながら支援内容についてご説明させて頂いています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18			2		外部の講演会の情報があつた際は、その都度、チラシや案内を配布しお知らせさせて頂いています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20					連絡帳・電話(LINE含む)・送迎時・面談時などにこ報告や確認を行わせて頂いております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					面談については必要に応じて実施させて頂いております。面談ができない際は、電話にて相談支援等を行わせて頂いています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					子どもの視点にたち、より良い成長を目指し日々、取り組ませて頂いています。共感的な関わりの中で安心して過ごして頂けるよう今後も努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19			1		親子交流会、保護者会を実施させて頂きました。交流会にはきょうだいの参加も促させて頂き交流も図りました。今後も開催時期や回数などの検討を引き続き行っていく予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20					相談・連絡等があつた際には、迅速に状況把握、説明を行えるよう体制を整え、実施しております。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					状況に応じて連絡帳や口頭説明・伝達、電話(LINE)等での対応を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18			2		活動概要や行事予定などは毎月、園だより等を配布したり、定期的にインスタグラムの投稿などを行っています。自己評価についてはホームページにて公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					個人情報の取り扱いについては職員の入職時に説明・同意を得ています。日頃からの周知徹底も行い書類の保管は施錠し管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			2		マニュアルについてはそれぞれ作成しており、保護者様へは契約時や保護者会の時などに提示したり、ご説明するなどの対応を行っています。訓練についても定期的に実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			3		定期的に避難等の訓練を行っています。年に1回は消防署の立会いでの訓練も実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			1		安全計画に基づき、注意喚起や日々の確認等に取り組み、不審者対応訓練等も実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20					事故が発生した際には速やかに、保護者様へ連絡を入れさせて頂き状況説明・報告を行わせて頂いています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20					今後も子どもたちが安心して通っていただけるよう職員一同、資質向上に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2	1			子どもたちが楽しく通えるよう、これからも職員間で創意工夫を行いながら取り組んでまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20					無理なお願いも対応して頂き、大変感謝しています。 ご満足いただけるよう、より一層、精進してまいります。

事業所名		公表日			
一般社団法人 みかさの里 放課後くらぶ エイトびーす		令和8年 2月12日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		規定に基づき利用定員に応じたスペースを確保しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		規定数の職員に加え、有資格者等を配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ホワイトボードや黒板、イラスト・掲示物等視覚化を行い、当日の流れ、座る位置、お約束事などを把握しやすくするための取り組みの実施をしています。	建物が賃貸の兼ね合いからバリアフリー化は現時点では困難ですが、必要性に応じて対応・配慮に努めます。(現時点では対象者なし)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援前後に清掃を実施しています。活動内容に合わせた環境設定・準備等を行っています。また、感染症流行状況も踏まえた対応や日頃からの予防(消毒、換気、健康管理等)を実施しています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの状態に合わせ、別の部屋(職員室・静養室・相談室)を使用したり、落ち着いたスペースに移動するなどができるよう対応をしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の支援前後のミーティングを行い、現状把握・情報共有を図り、意見を出し合い、課題抽出・業務改善等を行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表については年1回配布、記入していただいています。ご意見については職員間で共有し改善に努めるようにしています。評価表以外でも連絡帳や送迎時、面談時などにあった意向等については都度、改善に努めています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員ミーティングや職員会議や個別の面談、相談を受ける機会を設けて意見等を把握するようにしています。その内容を都度、改善に向けて取り組んでいます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者による外部評価は受けていませんが、外部(見学者・訪問者等)からの意見等をいただいた際に、その意見を改善の参考にさせて頂いています。	第三者評価については今後の検討課題としていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		各研修会を事業所・法人内で定期的の実施しています。また、外部の研修についても案内を開覧するようにして希望等に応じて、受講できるようにしています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムについては、職員間で共有・検討を行い作成をしております。ホームページにて公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的に保護者様と面談や電話連絡等を行い情報収集等を行っています。また、相談支援員や学校の先生との情報共有、収集を行いニーズや課題分析に繋げ作成を行っています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画の見直し、作成を行う際、職員の意見を聞くなど情報収集を行い、作成・提示・報告したうえで共通理解できるよう取り組んでいます。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成後は、職員間で共有をし、計画に沿った支援ができていないかミーティングで報告、振り返りをしながら実施しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		本人の状況・状態や保護者様、相談支援員、学校の先生等の情報と日々の支援などからアセスメントを作成し活用しています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に沿った支援内容を踏まえ、個別支援計画に反映、設定をしています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各職員があげた活動内容を全職員で共有し、内容の見直しや役割を振り分けたり、サポートの仕方を話し合い取り組んでいます。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々の成長状況に合わせ活動内容に変化を持たせたり、季節の催し、外出行事、イベントなどの活動を取り入れながら固定化しないための立案を行い取り組んでいます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要性に応じ、個別や集団での活動を取り入れられるよう計画を作成し、個々の状態・状況に合わせ適宜、支援を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に当日の支援・活動内容等についての説明・共有を図り、注意する点や分担などについて確認をして職員間で連携を図れるよう取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎終了後、その日の支援の状況や気づいた点の報告等を行い共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援の個別支援記録をとる事を徹底して実施しています。それを確認することで支援の改善・検証に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		子どもによっては達成時期が異なる場合がありますが、少なくとも6か月に1回はモニタリングを実施して見直し等を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		個々の状態・特性に合わせ少しずつ「できた」「楽しい」を積み重ね自信や自己肯定感を育む、地域の催しへの参加・外部の施設を利用するなどして社会経験を積み、遊びの時間に玩具等を使用し想像しながら自由に遊んだり関わることで、新しい体験を重ねるなどの取り組みを行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動を行う中で、自己選択することの場面を設けながら支援に取り組んでいます。(例:お祭りの出店当番・クリスマス会出し物など)	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が参画していますが、現場の状況や状態次第で適任者を選んで参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ、学校や医療機関などの関係機関と連携を図るよう取り組んでいます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校行事等の確認については、事前に年間行事予定表をいただいたり、送迎時に先生に確認するなど行っています。下校時間確認については、時間割の確認、保護者様への確認でもわからなかった時のみ学校へ電話を行い確認するようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所を利用していた場合は担当者会議を行い、情報共有を図っています。保育所等のみの場合は保健師、相談支援員から情報提供の書類を提示してもらったり、参加可能な際には担当者会議に参加してもらっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行シートを活用して情報提供を行ったり、担当者会議に参加するようにしています。(今現在は、対象児童がいません。)	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		こども医療センターなど専門機関を受診する際の情報提供や共有を実施しています。必要に応じて連絡を取り助言をもらったり、受診時に同席するなど行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域で行われた「こども祭り」などに参加し、一般の子どもたちの中に混ざりながら一緒に活動をできるように取り組みました。	児童クラブ等との交流の機会を検討課題としていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会等からの案内があった際には、必要に応じて法人から参加するようにしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や電話、面談時、送迎時などに報告等を行わせていただき、共通理解を図れるよう努めています。	
保護者へ	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者様との面談時や相談、困り感のある際に取り組み方や方法についてなど助言等をさせていただきます。また、外部の講演会などのお知らせ等も随時、行わせて頂いています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や内容の変更時等にご説明を行わせて頂いております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時や面談時等に子どもと保護者様の意向を確認し、計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を提示しながら支援内容について説明をさせて頂いて同意を得ています。その後、控えをお渡ししています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談・連絡等があった際には、必要に応じて面談を行ったり、急ぎの場合は電話での対応などを行い、助言や支援を実施させて頂いています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親子交流会・保護者会を行わせて頂き、同時にきょうだいの参加も呼びかけ一緒にレクリエーションや制作活動を行いました。	開催時期や回数などの検討を引き続き行っていきます。

の 説 明 等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口及び苦情解決責任者を設けています。事案があった際には速やかに対応、対処していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動概要や行事予定などは毎月、園だよりやInstagram、ホームページなどを活用して発信しています。連絡等については電話だけでなくLINEの活用も併用して実施しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては職員の入職時に説明、同意書を得ています。また、日頃から取り扱いについて周知徹底を行い、書類の保管は施錠し管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの特性に合わせ、言葉で伝えるのが難しい場合は、表情カード・ホワイトボード・イラストなど視覚的ツールを使用したり、行動から読み取る、個々の意思表明の仕方を職員が理解するなど相互の伝達方法に配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		建物の広さなどの関係からイベントに招くことはなかなかできていませんが、見学の希望などがあった際は、受け入れをしたり説明を行ったりしています。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故・災害・感染症などのマニュアルについて保護者会や契約時に説明、確認をして頂いています。研修や訓練等については、定期的に計画し実施を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、定期的な内容の確認や変更、必要な研修・訓練等を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認させて頂いています。途中から服薬が開始になったり、病院受診をされたなどあった際は、ご報告を頂いたり、確認をするなどして把握するよう努めています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在は対象者がいないため実施しておりませんが、必要に応じて実施していきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な研修や訓練、対応などを実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		取組んだ内容や取組みについては、園だよりやInstagram・ホームページに掲載したり、口頭で伝えるなどして対応させて頂いています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例があった際には職員間で共有、検討し再発防止に努め、未然に事故を防げるよう改善を図っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内での職員研修が実施されています。また、ミーティング等でも職員に定期的に周知するように努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けています。また、法人内で研修を行っています。	現在は対象者がいないため、今後必要の際はしっかりと説明を行い了承を得たうえで計画書への記載、記録を残すなどの取組みを行っています。